

学校経営理念

- 子ども：「自分のよさが発揮でき、学習することが楽しいと感じることができる」学校
- 保護者・地域：「子どもを通わせてよかった、学校があってよかったと思える」学校
- 教職員：「持ち味が発揮でき、チームで動き、やりがいのある」学校

ビジョン（めざす姿） 目標		評価計画		自己評価			2学期以降の改善計画	
				中間		評価		第1回結果補助指標
評価項目（取組）		評価指標（目標値）						
か	<b>考えぬく頭</b>  ・自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、問題を解決する児童	1  日々の授業において児童が主体的に取り組む工夫をするとともに、授業研究を通して、児童が意欲的に取り組む課題発見・解決型の授業を行う。	児童アンケート「授業では自分の考えとその理由を明らかにして相手にわかりやすく伝えるように発表を工夫している。」	80%以上	4	児童アンケートにおける肯定的評価の割合77.4% 「あまりあてはまらない」19.1% 「あてはまらない」3.5%	<b>発表の手助けとなる指導の徹底</b> 「あまりあてはまらない」と回答する児童を15%未満にします。発表の手助けとなる話型を系統立てて作成し、指導の徹底を図ります。	
			教師アンケート「国語の授業において問題解決的な学習を積極的に取り入れている。」	70%以上	3			教師アンケートにおける肯定的評価34.6% 「あまりあてはまらない」53.8% 「あてはまらない」11.5%
			80%以上	4				
			70%以上	3				
・基礎・基本を確実に身に付け、家庭で学びを深める力を身につけた児童	3  各種学力調査(全国・県・NRT・CRT等)の結果を分析し、課題を見つけて取り組む。	各種学力調査(全国・県・NRT・CRT等)の60%以上の児童の割合	90%以上	4	【1年】1学期末テスト94.6% NRT【2年】83%【3年】75.5%【4年】58.4% 「基礎・基本」【5年】76.0% 全国学力【6年】77.1% 【全学年平均】77.4% ※実施後の自校採点による	<b>学校全体で課題改善に向けた取組</b> 各学年における結果の分析を行い、課題に対してどのような指導が必要なのかを明らかにし、改善に向けた取組を学校全体で行っていきます。「基礎・基本」と「全国学力」の問題を全員解き、本校で課題となった問題に対し、それぞれの学年での改善取組を行っていきます。		
			80%以上	3				
			70%以上	2				
			70%未満	1				
・進んで読書をする児童	4  児童が積極的に読書活動を進めるような図書館教育の推進、委員会や学級指導を行う。	図書室で本を借りない児童の割合（本を読まない児童の割合）	0%	4	1か月間に読んでいる本の冊数 5冊以上61.6%(平均13.9冊) 3冊以上24.8% 1冊以上11.9% 0冊1.6%	<b>読書環境づくりと読書の習慣化</b> 朝読書の時間(8:15～8:25)を確保します。各学年の課題図書を手にとってすぐに読むことができるように教室に配置します。家庭との連携を図り、読書習慣を身に付けられるようにしたいと思っておりますのでご協力をお願いします。		
			20%未満	3				
			20%以上40%未満	2				
			40%以上	1				
い	<b>意気高い心</b>  自らを律しつつ、友達と協力し、人や物や場を大切にす意気高い心を持った児童	5  自分のあいさつレベルを決め、自ら進んで気持ちのよいあいさつができる児童を育てる。	保護者アンケート「わが子は、だれに対しても気持ちのよい挨拶ができる。」	90%以上	4	保護者アンケートにおける肯定的評価の割合69.0% 児童アンケートにおける肯定的評価の割合88.5%	<b>「あいさつ名人」の取組とあいさつの習慣化</b> 2学期以降も、「あいさつ名人」の取組を行うとともに、児童会が中心となってあいさつ運動を行います。教室に入室する際のあいさつを徹底します。また、家族の方へのあいさつ、交通安全ボランティアさんや学校に来られるお客さんへのあいさつの徹底を図ります。	
			80%以上	3				
			70%以上	2				
			70%未満	1				
		6  「体験活動を取り入れた道徳学習プログラム」など、学校の教育活動全体で「人や物に感謝」する取組を行う。各学年の実施合計数	各学年の実施合計数	12回以上	4	「体験活動を取り入れた道徳学習プログラム」を実施した学年ー1(学年) 「人や物に感謝」する取組ー各学年1回実施 1回×6学年=6回 1+6=7 7回	<b>「人や物に感謝」する取組の充実</b> 今後、「体験活動を取り入れた道徳学習プログラム」を各学年で実施し、感謝の会や二分の一成人式等で「人や物に感謝」する取組を行います。	
				7～11回	3			
			6回	2				
			5回以下	1				
た	<b>たくましい体</b>  自ら心身の健康保持増進に取り組む児童	7  体力テストの結果(H27年度)を受け、体力の向上に向けた取組を行う。(サーキットトレーニング、体力づくりタイム、なわとび週間など)	体力テスト 全国平均を超えている割合(各学年の全国平均超種目数の合計÷全体の種目数)	80%以上	4	平成27年度の全国平均を超えた種目数(男子)37+(女子)28=65 65÷96=0.67708… 67.7% 96=8種目×6学年×2(男女)	<b>体育科授業での取組強化</b> 各学年で全国平均を下回った種目について、重点課題種目として体育科の授業の中での取組を強化して行います。研修で学んだ「運動遊び」を取り入れます。	
			70%以上	3				
			60%以上	2				
			60%未満	1				
		8  早寝早起き朝ごはん調べ(生活調べ)を年4回(6,9,11,1月)実施し、家庭と連携しながら生活リズムを確立していく。	早寝早起き朝ごはん調べ(生活調べ)で、7日間の朝ごはんのうち5日間野菜を食べた児童の割合	80%以上	4	【1年】71%【2年】70%【3年】72% 【4年】72%【5年】53%【6年】57% 【全体平均】64.7%	<b>朝ごはんへの取組と授業での指導</b> 野菜を使った朝食のレシピを紹介したり、朝ごはんフェアを2学期も実施したりして児童・保護者への呼びかけを行います。また、全校が集まる朝会で、保健委員会からの呼びかけを行います。高学年では、家庭科の授業・保健指導において栄養教諭が参加します。	
				70%以上	3			
				60%以上	2			
				60%未満	1			
みなぎる みんなの力で	組織的に、かつ協働することで、活力ある教育活動を展開し、保護者や地域に信頼される学校	9  保護者や地域の方に、学校の取組情報を積極的に発信し、理解と協力を得る。	ホームページの表示数(アクセス数)	1日平均400件以上	4	7月29日現在アクセス数32,008 4月6日～7月31日(117日間) 32,008÷117=273.57…(1日平均)	<b>ホームページでリアルタイムで情報発信</b> 学校での児童の活動の様子などをリアルタイムで発信しており、保護者や地域の人から好評です。今後も、児童の個人情報保護の徹底を図りながら進めていきますので、しっかりご覧ください。	
			1日平均300件以上	3				
			1日平均200件以上	2				
			1日平均200件以下	1				
		10  学校全体で業務改善に取り組むことを通して、子供に向き合う時間を増やす。	教職員アンケートの、児童に向き合う時間の増加	80%以上	4	教職員アンケート「児童と向き合う時間が確保できている。」の肯定的評価の割合54.2%(県小学校全体平均60.8%)	<b>業務改善への取組の推進</b> 夏季休業中に今年度の取組の見直しを行いました。すぐに改善できるものについては2学期より実行して行きます。また、来年度に向けての計画においても学校全体でスクラップアンドビルドを徹底し、児童と向き合う時間の確保につながるような改善を行って行きます。	
				70%以上	3			
				60%以上	2			
				60%未満	1			